

次期中期計画の全体イメージ（案）

（基本方針）

- 医療** 高度で安全な医療を提供する
- 人材** 患者に寄り添う心と、仕事への誇りを持ち続ける
- 経営** 持続可能な経営基盤を確立する

理念 命と健康を守り、県民に信頼される病院

- 県立病院の強み・魅力のアピール
- 県内・地域の医療機関との連携強化
- 新型コロナウイルス感染症等への迅速かつ積極的な対応

（新）総合病院 ※ 令和7年1月に総合病院と小児保健医療センターを統合

◇ 子どもから大人まで切れ目のない高度・専門医療の提供
 ◇ 大学病院に準ずる高度な医療を幅広い疾患に対して提供
 ◇ 医療資源の最適化を通じた一層効率的・効果的な病院運営
 ～ 診療機能の充実により名実ともに総合病院へ ～

強み

- ▶ がん相談件数 県内1位 (R2)
- ▶ 胃、肺、乳房の院内がん登録数 県内1位 (R1)
- ▶ 心臓カテーテル治療 県内1位 (R1)
- ▶ 難治・慢性疾患を中心に高いシェア

急性期

- 救急医療提供体制の強化（子ども・大人の区別なく受け入れられる救急体制の確立）
- 高度急性期を中心とした病棟再編（地域包括ケア病棟、回復期リハビリ病棟の急性期病棟への転換）

がん

- 都道府県がん診療連携拠点病院としての県内がん医療の均てん化・質の向上に向けた取組
- 総合的ながん診療の提供
- 難易度の高いがん手術の実施、ロボット(ダヴィンチ)手術
- がんゲノム医療 ● 放射線治療の充実

子ども

- 子どもの医療・保健・療育・福祉サービスの中核機関としての機能の発揮
- 小児整形、小児神経等における高度専門的な治療
- 病院統合を通じた対象疾患の拡大、診療機能の高度化（● 産科医療の検討）

精神医療センター

- 依存症治療拠点医療機関（アルコール・薬物・ギャンブル等）としての機能や中・高生こころの専門外来の充実
- 「子どものこころの専門医」の育成

（小児科医・精神科医向けの専門医研修施設群の認定）

精神疾患に係る連携強化



持続可能な経営基盤の確立